

新設駐車場指定管理による運営方針案について

平成 3 1 年 3 月

駐車場の指定管理による運営・公募案①

1. 指定管理者の業務・資格

利用料金の徴収、設備の管理、敷地内清掃、修繕、警備、利用促進に関する広報活動等の業務を担う。

また、指定管理者は団体（法人格の有無を問わない）であって、市内に事業所を有し、休日・夜間や災害時等の緊急時に迅速な対応がとれる体制を有する者とする。

2. 指定の期間

平成31年11月1日～平成33年3月31日（1年5か月）

※運営開始当初の収支予測が困難であることから、短期間とする。運用開始後、運営状況を確認しつつ、以後の指定期間の設定等を検討する。

3. 指定管理に関する経費の支払い

管理経費については、原則利用者からの利用料金をもって充てることとするが、公募の際に指定管理料の提案がされた場合は、市が設置する指定管理者選定委員会において妥当性を審査する。

4. 納付金制度

収入額から必要経費を引いた額（収益額）に納付率を乗じた額を市に納付する制度とする。

【納付額 = 収益額 × 納付率】

※納付率は指定管理者が応募時に提案。

※納付金は、温泉街の更なる活性化に寄与するよう、長門湯本温泉の観光振興策や将来的な駐車場の改修に活用。

駐車場の指定管理による運営・公募案②

5. 指定管理者の選定

市が設置する指定管理者選定委員会において審査を行う。

6. 審査基準

事業計画と収支計画の大きく2つの観点から審査を行う。

(1) 事業計画

- ・施設の設置目的を理解できているか
- ・指定管理業務に対する意欲・熱意があるか
- ・施設の効用を増進するため、サービス向上や利用を促進する工夫があるか
- ・地域や地域の関係団体等との連携や協働、地域の活性化に向けた方策がとられているか
- ・利用料金の設定は適正でサービスの低下につながらない範囲でコスト削減できているか
- ・施設の運営体制や人員配置が適確か
- ・防犯対策や事故発生時の対応、清掃等の維持管理が適切にできるか 等

(2) 収支計画

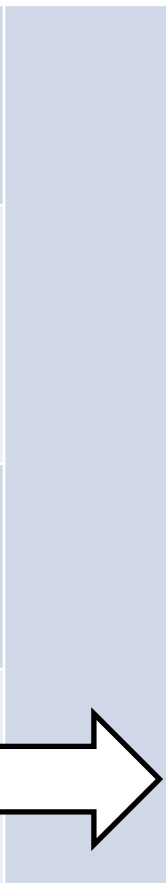

- ・収支見込みは現実的か
- ・温泉街の持続的な発展を考慮した納付率が提案されているか 等

温泉街の顔となる場所であり、単に駐車場の運営ノウハウを有するだけではなく、**地域企業・団体との連携を図り、いかに地域と連携して活性化を図れるかが重要。**
そのため、「**地域との連携**」を最重要視して評価を行う。

7. 駐車場ゲート等の機器の選定

有料駐車場ゲート等の機器の選定については、機器のリース期間が指定管理期間よりも長期になることから、市においてリース料やメンテナンスサービスの内容、景観に配慮した機器外観等を踏まえ、選定を行っている。指定管理者が決定したのちに、当該機器の事業者と指定管理者が契約を行うこととする。

指定管理公募スケジュール予定

	3月	4月	5月	6月	7月～ 9月	10月	11月
駐車場 条例	条例議決・公布 3/22（予定）						条例施行 11/1（予定）
指 定 管 理 者 公 募	第1回選定委員会 3/18 公募期間 3/26～4/26		第2回選定委員会 5/10（予定） 議案提出 5月下旬（予定）	6月議会 議案提出・議 決（予定）		協定締結	業務開始 11/1（予定）
駐車場 機 器 設 置	公募期間 3/4～3/14 決定 3/22					機器設置 10/23まで （予定）	運用開始 11/1（予定）
駐 車 場 工 事	 駐車場整備・植栽・照明・舗装工事					完成 10/31 （予定）	

※上記スケジュールは現時点での予定。指定管理者の決定に関して、選定委員会での検討等によっては9月議会での決定もありうる。